

# 学生募集要項

2025年度



TCU | 東京基督教大学

## 問い合わせ先

東京基督教大学 アドミッションセンター

Web サイト：<https://www.tci.ac.jp/>

住所：270-1347 千葉県印西市内野 3-301-5

電話：0476-46-1131

Email：[nyushika@tci.ac.jp](mailto:nyushika@tci.ac.jp)

対応時間：9:00～16:45（月曜日～金曜日）※昼休み 11:50～12:50 を除く

# 目 次

ページ

問い合わせ先

信仰基準	2
建学の精神、神学部の学科と専攻、教育目標	3
アドミッション・ポリシー	4
カリキュラム・ポリシー	5
ディプロマ・ポリシー、寮について	6

## 入試概要

募集人員、入試日程	7
入学検定料、受験票、試験時間	8
不正行為への対応、再受験、合格発表、補欠者、入学手続・辞退手続	9
障がいのある方へ、その他	10
日本語能力について	11
個別入学資格審査	12

## 入学者選抜要項

出願資格（各選抜共通）	13
総合型選抜	14
総合型選抜（オンライン）	16
学校推薦型選抜（公募制）	18
学校推薦型選抜（指定校制）	19
一般選抜	20

## 編入学者選抜要項

3年次編入教会教職専攻（総合型方式、総合型オンライン方式、一般方式）	22
2年次・3年次編入〔教会教職専攻を除く〕（総合型方式、総合型オンライン方式、一般方式）	26

学生納付金（2025年度）	30
奨学金制度	31

## Web出願について

Web出願に必要な情報	34
事前課題（小論文）について	36

キャンパスまでの交通のご案内

キャンパス（入学試験会場）のご案内

## 信仰基準

東京基督教大学が基準とする信仰は、旧・新両約聖書に一貫して啓示され、古代公同信条に表明され、宗教改革において宣明された聖書的・歴史的・正統的信仰です。この信仰は、近代の自然主義的な啓蒙思想や自由主義神学の挑戦を受けながら、正統信仰の弁証と敬虔な信仰の実践とを目指す福音主義へと展開するにいたりました。その福音主義信仰を根本において支える個々の信仰箇条は以下の9箇条に述べるとおりです。

1. 66巻からなる聖書は、聖霊の完全な靈感によって、それぞれの著者を通して、記されたものです。したがって、聖書の記述には、誤りがありません。聖書は、神が救いについて人々に啓示しようとしたすべてのことを含み信仰と生活との唯一、絶対の規範となるものです。
2. 生ける真の神は唯一で、永遠から永遠に、父・子・聖霊の三位であります。
3. 神は無から、目に見えるもの見えないものすべてを創造されました。すべての被造物は、神の絶対主権のもとにあります。
4. 人類の父祖アダムは、神のかたちにかたどって創造されました。アダムは、初め、神と正しい関係を保ちましたが、サタンの誘惑により、神のみこころに背いて罪を犯しました。その結果、罪の刑罰と腐敗をこうむって、霊的にも、肉体的にも死に服しました。ですから人間は、すべて罪の性質をもって生まれ、その思いとことばと行為において罪あるものです。
5. わたくしたちの主イエス・キリストは真の神であり、また真の人間であります。主は聖霊による身ごもりを経て、処女マリヤから生まれました。主は、世の罪のために十字架にかかり、死んで葬られ聖書に従って三日目によみがえりました。主は天に昇って神の右に座し、わたくしたちのために大祭司の務めを果たされます。
6. 主イエス・キリストの身代わりの死のおかげで主を信じる者はみな罪をゆるされて義と認められ、神の子とされて罪の支配から解放されます。これ以外に救いの道はありません。
7. 聖霊は、罪ある者に、罪を認めさせて、信仰に導き、聖潔と奉仕の生活を送る力を与えてキリストのかたちに似る者としてくださいます。
8. 教会はそのかしらであるキリストのからだですから、聖霊によって新しく生まれた者は、みな教会の一員です。地上の教会はそのかしらであるキリストにふさわしく信仰と純潔を保ち、またその命令に従ってすべての造られたものに福音を宣べ伝えなければなりません。
9. わたくしたちの主であり、また救い主であるキリストは、したしく肉体をもって再臨されます。義なる者も不義なる者も、それぞれの肉体をもってよみがえらせられ、永遠の祝福か、永遠の刑罰かのどちらかへ定められます。終わりに、主は、すべてのものを新たにして、み国を父なる神におわたしになります。

## 建学の精神

プロテスタント福音主義信仰に立ち、教派を超えて21世紀の教会と社会に奉仕する世界宣教の働き人を育成するために、実践的な神学教育を施す。

### 1. 福音主義

聖書を誤りのない神のことばと信じ、かつ信仰と生活の唯一の規範とする福音主義に立って、正統的な神学に基礎づけられた教職者および奉仕者を育成する。

### 2. 超教派

超教派の神学教育に実績を持つ東京キリスト教学園にあって、教派を超えて日本の内外の諸教会と社会に奉仕し、その発展に寄与できる人材を育成する。

### 3. 実践的神学教育

福音主義諸教会や諸団体の期待と要望に応えるために、実践的神学を深め、教会と社会に仕える姿勢、行動力や指導力を養い、福音を肌で感じさせる人材を育成する。

### 4. 世界宣教

宣教の主イエス・キリストの大命令に応じて、世界各国とりわけアジア諸国に、キリストのからだである教会を建て上げる働き人として、宣教師や奉仕者を送り出す。

## 神学部の学科と専攻

東京基督教大学は1学部（神学部）1学科\*で編成されています。

\* 2025年度1年次入学生より神学・国際教養学科（計画中）

2025年度2年次以上の編入生は総合神学科

1年次に入学、2年次に編入学した者は、3年次進級時に以下の5専攻から主専攻を選択します。3年次編入生は受験時に専攻を選択しますので、「教会教職専攻」と「それ以外の専攻」で入試区分が異なります。

教会教職専攻

グローバル・スタディーズ専攻

ユース・スタディーズ専攻

キリスト教福祉専攻

神学教養専攻

## 教育目標

### 1・2年次教育

キリスト教リベラルアーツ教育に基づく幅広い教養を身につけ、理論と実践を統合し、共同体での学び合いを通じて、霊性、知性、品性、社会性を育てる。また、基礎的学びを発展させつつ、キャリア形成を意識しながら専攻を選択する。

### 教会教職専攻

教会教職者（牧師、宣教師、伝道師など）への召しに応え、福音主義に立脚した神学諸分野（聖書・組織・歴史・実践）を有機的に統合した学びに取り組む。個々の賜物と召しを重んじ、各教会・教団教派の特徴を尊びつつ、包括的福音の担い手を自覚する教会教職者の養成を目指す。

### グローバル・スタディーズ専攻

世界の痛みのあるところに神の愛と平和をもたらすために、異文化の人々と協働することのできる実践的な力をもった人を育成する。国内外の社会問題について多様な視点から分析し、創造的に発想しながら問題解決に向けて自ら行動できる力を養う。

### ユース・スタディーズ専攻

ユース（思春期の若者）の文化、および心理的・社会的発達のプロセスや課題を理解し、彼らの全人的な成長を促し支えるリーダーシップを養うことを目指す。また、聖書の言葉をユースの実践的問題解決につなげるために神学する力を養う。

### キリスト教福祉専攻

基礎的な聖書・神学の理解を土台に、キリスト教福祉の考え方と実践力を養う。特定の領域に縛られず、人々と共に生きる福祉や教会と福祉のあり方等のテーマを、介護・ソーシャルワーク双方から広く学び、将来のクリスチャン福祉ワーカーとしての働きに資するスピリット・知識と技術を培う。

### 神学教養専攻

すべてのキリスト者が神に召された献身者であると考え、それぞれのキリストにある天職を求め、それに応えていくことを目指す。あらゆる事柄についてキリスト教独自の視点で考え、日常生活の全領域において、聖書の言葉に根ざした思想をもって行動する力を養う。

## アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

東京基督教大学は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。

本学の教養教育、寮教育やチャペル礼拝を通じたキリスト教人格教育、各専攻による専門教育により、福音的な聖書理解と幅広い神学知識、人と社会に仕える姿勢と教養、神と教会に仕える情熱と知見、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。

本学の入学者に求める条件、資質は以下のとおりです。

1. 既に洗礼を受けたか、幼児洗礼の場合は信仰告白をしていること。
2. キリストへの献身<sup>1</sup>を表明し、将来教会と社会に仕えることを志していること。
3. 本学の建学の精神と信仰基準に同意すること。
4. 聖書の基礎知識を有し、基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力があること。
5. 自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれること。

本学の入学者選抜においては、聖書の基礎知識、基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力、自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションをとれる力があるかどうかを審査します。なお、入学者選抜における評価方法及び評価比重については、別途学生募集要項に定めます。

<sup>1</sup> 本学が考える「献身」とは、牧師や宣教師のみならず、広くこの世界でキリストに仕える者としての献身を意味します。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

東京基督教大学では、「建学の精神」および「理念とミッション」に基づく「ディプロマポリシー」を達成するために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を提供し、学修成果をどのように評価するのかを、「カリキュラムポリシー」として以下のように定めています。この「カリキュラムポリシー」を通して、福音的な聖書理解と幅広い神学的知識、さらには情熱を持って神と人に仕えるための実践力を身につけたクリスチャンを育成することを目指します。（文末カッコ内は、東京基督教大学の「ディプロマポリシー：DP」に対応する番号です。）

### [1] 科目の提供

- a. プロテスタント福音主義と超教派の理念に基づき、聖書神学、組織神学、歴史神学、実践神学の伝統的で幅広い神学の学びの機会を提供します。（DP-1,2）
- b. 人間と社会を理解するために必要な教養教育科目を提供します。（DP-2,4）
- c. クリスチャンとして広く社会で活躍する人を育成するため、日本語と英語の両方で学ぶことのできるカリキュラムを提供します。（DP-4）
- d. 異文化と他者への理解をもって神と人に仕える実践力を身につけたクリスチャンを育成するため、実践神学、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉等の科目群を設けます。（DP-1,3,4）
- e. 初年次の学生には、大学における学びに備えるための基礎的な学力の充実を主眼とする科目や、神学を概観できる科目に加え、大学という学習共同体の一体感や、キリスト教世界観を形成するために必要な実践的な学びの機会を提供します。（DP-1,2,3,5）

### [2] 科目の編成

- a. 学生の主体的な履修を励ますため、基礎学力の向上から専門的知識の修得までを可能にする科目を、科目番号を用いて体系的にわかりやすく配置します。（DP-1,2,3）
- b. 学生が自らの興味や将来の目標に沿った学びを進めることができるように、幅広い神学科目の中から、より明確な将来像と結びついた複数の専攻（履修モデル）と副専攻を提供し、具体的な進路選択を促します。提供される専攻は以下のとおりです。教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養（DP-4,5）
- c. 科目ごとに授業の目標、内容、教育方法、評価方法等を明記したシラバスを作成して学生に提供します。また「カリキュラムポリシー」を具体化し、可視化して共有するための「カリキュラムマップ」を学生と教職員に提供し、カリキュラムに関する大学全体の共通理解と連携を図ります。（DP-3）
- d. 毎学期後に実施される学生による授業評価を用い、より効果的な科目配置や、授業内容の改善を実施します。（DP-3）

### [3] 学修の方法と評価

- a. 学生と教員の距離を縮め、より能動的な学修参加を促すため、少人数クラスの編成を基本とし、講義、演習（ゼミ）、実習（インターンシップ）、実技、卒業研究等の多様な学びの機会を提供します。（DP-3,4,5）
- b. 学生の能動的な学修参加と、他者との協働を促すため、授業の中で小グループ・ディスカッションや学生発表等のアクティブラーニングの諸方法を用いた学修の機会を提供します。（DP-3,4,5）
- c. 社会と教会に仕える実践力や協働力を身につけたクリスチャンを育成するため、チャペル礼拝<sup>2</sup>出席及び地域教会での礼拝出席を必修とし、さらに寮教育の機会を提供します。（DP-4,5）
- d. 卒業判定につながる学修成果の評価には、通常の科目成績評価に加え、学生の自己評価や教員との面談を含む複数の他者評価が総合的に用いられます。（DP-1,2,4,5）

<sup>2</sup> チャペル礼拝とは、火曜日から金曜日に、大学チャペルでもたれる、全学生出席の礼拝のことです。

## ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

東京基督教大学では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。

以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。

1. プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。
2. 東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。
3. 修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。
4. クリスマンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。
5. 神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。

## 寮について

神学の学びは、教場における営みだけでなく、生活全域に及ぶものです。本学では、寮教育を重視しています。寮教育では、寮での生活を通して「キリスト者の自由をもって共に生きる」ことを体得し、キリストの愛と義を常に判断の基準とできる福音的キリスト者を育成することを目的としています。

本学には、男子寮、女子寮、家族寮があります。入寮に関する詳細は合格後に本学から発送される書類を参照ください。

また、通学を希望する場合はWeb出願時に「通学」を選択してください。  
毎年度末、次年度に通学するか入寮するかを確認します。

## 入試概要

### 1. 募集人員

#### 1 年次入学<神学部 神学・国際教養学科(計画)>

入試区分	定員
総合型選抜	18名
総合型選抜(オンライン)	若干名
学校推薦型選抜(公募制)	5名
学校推薦型選抜(指定校制)	若干名
一般選抜	5名
秋季入学者選抜	5名
計	33名

#### 編入学<神学部 総合神学科>

入試区分	定員	
	2年次編入	3年次編入
編入学者選抜(総合型方式)	若干名	10名
編入学者選抜(総合型オンライン方式)	若干名	若干名
編入学者選抜(一般方式)	若干名	4名
秋季編入学者選抜	若干名	若干名
計	若干名	14名

### 2. 入試日程

#### 1 年次入学

入試区分		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
総合型選抜 総合型選抜(オンライン)	第1回	9月2日(月)~ 9月20日(金)	10月19日(土)	11月1日(金)	11月15日(金) 必着
総合型選抜 総合型選抜(オンライン)	第2回	10月1日(火)~ 10月21日(月)	11月20日(水)	12月2日(月)	12月16日(月) 必着
学校推薦型選抜(公募制) 学校推薦型選抜(指定校制)		11月1日(金)~ 11月8日(金)	11月20日(水)	12月2日(月)	12月16日(月) 必着
総合型選抜 総合型選抜(オンライン)	第3回	2月3日(月)~ 2月20日(木)	3月1日(土)	3月5日(水)	3月19日(水) 必着
一般選抜	第I期	1月6日(月)~ 1月20日(月)	2月1日(土)	2月6日(木)	2月21日(金) 必着
一般選抜	第II期	2月21日(金)~ 3月7日(金)	3月13日(木)	3月14日(金)	3月21日(金) 必着

#### 編入学

入試区分		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
編入学者選抜(総合型方式) 編入学者選抜(総合型オンライン方式)	第1回	9月2日(月)~ 9月20日(金)	10月19日(土)	11月1日(金)	11月15日(金) 必着
編入学者選抜(総合型方式) 編入学者選抜(総合型オンライン方式)	第2回	10月1日(火)~ 10月21日(月)	11月20日(水)	12月2日(月)	12月16日(月) 必着
編入学者選抜(総合型方式) 編入学者選抜(総合型オンライン方式)	第3回	2月3日(月)~ 2月20日(木)	3月1日(土)	3月5日(水)	3月19日(水) 必着
編入学者選抜(一般方式)	第I期	1月6日(月)~ 1月20日(月)	2月1日(土)	2月6日(木)	2月21日(金) 必着
編入学者選抜(一般方式)	第II期	2月21日(金)~ 3月7日(金)	3月13日(木)	3月14日(金)	3月21日(金) 必着

#### 秋季入学者選抜・編入学者選抜

秋季入学者選抜・編入学者選抜は全て英語で行われる入試です。

学生募集要項が異なりますので、詳細についてはadmission@tci.ac.jpまでお問い合わせください。

### 3. 入学検定料

- (1) 入学検定料35,000円は、Web出願サイトから出願手続き完了後にお支払いいただきます。日本国内から受験する方は、Web出願サイトをご確認いただき、指定の銀行口座へ送金してください。入金の確認ができない場合は受験できません。  
※ 海外在住の方はWeb出願サイトからクレジットカード払いにてお支払いください。
- (2) いったん納入された入学検定料は原則としてお返ししません。
- (3) 受験した入試選抜で不合格になり、異なる入試選抜を再受験する場合の入学検定料は20,000円です。詳細は「再受験」(9ページ)をご確認ください。

※災害救助法適用地域で被災された方へ

申請条件を満たした被災者は入試における入学検定料の免除申請を行うことができます。申請条件及び申請方法等の詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。

(トップページ→入学案内→入試案内→大規模災害罹災に伴う入学検定料の免除について)

### 4. 受験票

受験票はWeb出願サイトから印刷してください。試験に関する情報は、試験日の7日前までにメールでご連絡します。試験日の5日前までにメールが届かない場合はアドミッションセンターへご連絡ください。

### 5. 試験時間

本学キャンパスで実施する総合型選抜、一般選抜(編入含む)の試験時間は以下の通り予定しています。正式な試験時間は出願締切後に出願者へメールで通知します。下記の予定から変更になる場合もありますので、必ず出願後にメールで届く案内をご確認ください。

<総合型選抜・編入学者選抜(総合型方式)>

時間	内容
9:00 ~ 9:15	受付
9:15 ~ 9:20	注意事項説明
9:30 ~ 11:00	小論文(90分)
11:10 ~ 12:10	個別面接(一人30分)
12:10 ~ 13:00	昼食
13:00 ~	個別面接(一人30分)

<一般選抜・編入学者選抜(一般方式)>

時間	内容
9:00 ~ 9:25	受付
9:25 ~ 9:30	注意事項説明
9:40 ~ 10:20	聖書(40分)
10:30 ~ 12:00	小論文(90分)
12:00 ~ 13:00	昼食
13:00 ~	個別面接(一人20分)

面接時間について要望がある場合(遠方から来るため午前中に面接希望等)は出願時にアドミッションセンターまでご相談ください。ご要望に沿えない場合もあります。

※学校推薦型選抜、総合型選抜(オンライン)、編入学者選抜(総合型オンライン方式)は出願締切後、面接時間等をお知らせします。

## 6. 不正行為への対応

次のいずれかに該当する場合、不正行為とみなします。※オンラインでの試験を含む。

- (1) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- (2) 試験時間中に答えを教えるなど、他の受験者を利するような行為を行うこと。
- (3) 試験時間中に使用を許可されているもの以外のものを机の上に置くこと。
- (4) 試験時間中に携帯電話等の通信機器を身につけていること。
- (5) 試験時間中に携帯電話、時計等の音（着信音・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
- (6) 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (7) 試験会場において監督者の指示に従わないこと。
- (8) 志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- (9) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

不正行為者には、ただちに試験の中止を命じ、既に受験した試験を無効とし、以後に実施される今年度の入学試験の受験を認めません。また、不正行為があった場合、警察に被害届を出す場合があります。

## 7. 再受験

同一入試種別での再受験はできません。

例：第1回総合型選抜に不合格となり、第3回総合型選抜を受験  
異なる種類の入試であれば再受験可能です。

例：第1回総合型選抜に不合格となり、一般選抜を受験

再受験を希望する方は、アドミッションセンターまでご連絡ください。

## 8. 合格発表

所定の合格発表日にWeb出願サイトのマイページで合否を確認できます。合格者・不合格者ともに合否結果の通知を郵送します。合格発表日から数日経過しても通知が未着の場合は、アドミッションセンターまでお問い合わせください。

## 9. 補欠者

第3回総合型選抜、第3回総合型選抜（オンライン）において補欠者を出すことがあります。補欠者は合格者ではなく、一般選抜第Ⅱ期の結果により入学を許可される可能性がある者です。補欠者の発表は第3回総合型選抜、第3回総合型選抜（オンライン）の合格発表時に行い、Web出願サイトのマイページ「お知らせ」とメールで通知し、文書にて通知をお送りします。補欠者の合格発表は、合格者・不合格者ともに一般選抜第Ⅱ期の合格発表と同時に行います。合格発表日から数日経過しても通知が未着の場合は、アドミッションセンターまでお問い合わせください。なお、補欠者が入学を許可された場合でも、本学が指定した日までに入学手続を完了しなければ、入学資格を失います。

## 10. 入学手続・辞退手続

合格者は、入学手続締切日までに学生納付金を納入し、所定の書類を提出してください。締切日までに手続きが確認できない場合は、合格を取り消すことがあります。やむを得ない事情により入学手続締切日までに学生納付金を納入できない場合は、延納することが可能です。事前にアドミッションセンターまでご相談ください。

入学手続終了後に本学への入学を辞退する場合、2025年3月31日（月）までに申し出があれば、入学金を除いた納付金を返還します。

## 11. 障がいのある方へ

障がいがあり、特別の配慮を必要とする方は、受験方法等について Web 出願サイトから申請してください。

## 12. その他

### (1) ミドル・シニア世代の方へ

本学では、すべての専攻でミドル・シニア世代の方を歓迎します。

### (2) 英語で学びたい方へ

本学は日本語で学ぶ春季入学／編入学の他に、卒業まで全て英語で学ぶことが可能な秋季入学／編入学があり、入試も全て英語で行います。秋季入学／編入学の学生募集要項は異なりますので、英語で学ぶことを考えておられる方は、下記までお問い合わせください。

(電話：0476-46-1131 メール：admission@tci.ac.jp 日本語/英語対応)

### (3) 東京基督教大学卒業生の方へ

本学卒業生は学士再入学制度を利用できます。詳細はアドミッションセンターまでお問い合わせください。

### (4) 在留資格「留学」について（外国籍の方へ）

日本在住の外国籍の方で、本学合格後に在留資格を「留学」へ資格変更申請する場合、出入国在留管理庁に本学が発行する書類を提出する必要があります。必要な方は出願時または合格時にお問い合わせください。

海外在住の外国籍の方で、本学合格後に在留資格「留学」を申請する方は、まず在留資格認定証明書申請が必要です。本学が代理で出入国在留管理庁に申請しますので、出願前にお問い合わせください。

## 日本語能力について

本学では春季入学／編入学を希望する日本語を母語としない方に、以下のいずれかの日本語能力を出願条件として求めています。

### 1. 日本語能力試験(NI レベル)合格

日本語能力試験とは、国際交流基金と日本国際教育支援協会が実施している日本語能力をはかる試験です。日本国内及び海外で試験を実施しています。申込方法などの詳細は日本語能力試験公式ウェブサイト (<https://www.jlpt.jp/>) にてご確認ください。本学出願時に NI レベルの「日本語能力試験認定結果及成績に関する証明書」の提出が必要です。

### 2. 日本留学試験「日本語」の「読解、聴解・聴読解」(400点満点)で280点以上かつ「記述」(50点満点)で35点以上の成績を有する

日本留学試験とは、独立行政法人日本学生支援機構が実施している外国人留学生として、日本の大学(学部)等に入学を希望する者について、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力の評価を行うことを目的に実施する試験です。日本国内及び海外で試験を実施しています。日本留学試験には「日本語」以外に「理科」「総合科目」「数学」の科目がありますが、本学の出願に必要なのは「日本語」のみです。申込方法などの詳細は日本留学試験ウェブサイト (<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/index.html>) にてご確認ください。本学出願時に「読解、聴解・聴読解」(400点満点)で280点以上かつ「記述」(50点満点)で35点以上の「日本留学試験成績に関する証明書」の提出が必要です。

### 3. TCU 日本語能力認定試験の合格

TCU 日本語能力認定試験とは、本学で独自に行う日本語能力認定試験で、本学を受験する意思のある者だけが受けられます。随時申し込みを受け付けますが、本学入試の出願前に受験してください。合格した者は本学で学ぶことの出来る日本語能力があると認め、本学の入試に出願することができます。なお、この試験結果は本学の出願資格を満たすかどうかの判定にのみに用いられ、その他の用途には用いることができません。

試験会場は本学キャンパスです。受験料はかかりません。申込みは出願を希望する入試選抜の出願開始日2週間前までの受付に限ります。詳細はアドミッションセンターまでお問い合わせください。

### 4. その他、本学が認める上記1～3と同等以上の日本語能力

高等学校や専門学校、短期大学、大学、大学院等の日本語による課程を卒業または卒業見込みの者などは上記1～3と同等以上の日本語能力を有すると認めます。該当者は出願時に日本国内の高等学校や専門学校、短期大学、大学、大学院等の日本語による課程の卒業証明書または卒業見込み証明書(高等学校の調査書含む)を提出ください。ただし、それ以外の者でも上記1～3と同等以上の日本語能力を有すると証明できる場合は、本学で出願を認める場合があります。審査を希望される場合は必ず出願前にアドミッションセンターまでご連絡ください。

## 個別入学資格審査

チャースクールやホームスクール等で学び、「高等学校卒業程度認定試験」に合格していない場合でも出願する方法があります。学校教育法施行規則第150条7号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者」の規定により、本学では個別入学資格審査を実施しています。

### 1. 入学資格審査の対象者

- a. 高等学校を卒業していない者で、各種の学校における学修歴を有する者や社会における実務経験等を積んだ者で2025年3月31日までに18歳に達する者。(2025年4月1日に18歳の誕生日を迎える者を含む)
- b. 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者で2025年3月31日までに18歳に達する者。(2025年4月1日に18歳の誕生日を迎える者を含む)

### 2. 申請方法

Web出願サイトから個別入学資格審査申請書を入力し、以下の提出書類を郵送してください。

### 3. 提出書類

上記1のa.に該当する対象者

- (1) チャースクール、ホームスクール等の各学校における学修歴または社会における実務経験等を証明できるもの

上記1のb.に該当する対象者

- (1) 申請者の当該外国人学校における履修状況を証明できるもの
- (2) 当該外国人学校の卒業証明書又は卒業見込み証明書

### 4. 申請期間

原則として自分が出願を希望している入試の出願開始日1ヶ月前まで。

### 5. 審査方法

提出された申請に基づき書類審査及び面接試験を行います。審査により入学資格を認められた者には、Web出願サイトのマイページで申請承認結果を通知します。

### 6. 入学者選抜への出願について

個別入学資格審査申請書が承認された者は、本学が実施する入学者選抜（学校推薦型選抜以外）に出願することができます。

# 入学者選抜要項

※出願はすべて Web 出願サイトから行います。

総合型選抜

総合型選抜（オンライン）\*海外在住者限定

学校推薦型選抜（公募制、指定校制）

一般選抜

## 出願資格【各選抜共通】

受洗後<sup>※1</sup>キリストへの献身を明確にしたキリスト教信者であり、次のいずれかに該当する者。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者、および2025年3月卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および2025年3月修了見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
  - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、および2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
  - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該教育を修了した者、および2025年3月31日までに修了見込みの者。
  - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る)で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2025年3月31日までに修了見込みの者。
  - ④ 文部科学大臣の指定した者。
  - ⑤ 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験(旧制度の大学入学資格検定を含む)に合格した者、および2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達する者。
  - ⑥ 本学における個別入学資格審査により、高等教育を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年3月31日までに18歳に達する者。12ページ参照。

※1 出願時にはやむを得ない事情により受洗できていないが、入学時までには受洗予定がある場合、出願が認められることがあります。ご相談ください。

なお、上記出願資格に加え、日本語を母語としない者は本学の求める日本語能力を持つ者であること。詳細は11ページ参照。

## 総合型選抜

本学の総合型選抜は、書類審査、事前課題(小論文)、入試日当日の筆記試験「小論文」、聖書の口頭試問、面接試験を組み合わせた選抜です。事前課題(小論文)では「思考力・判断力・表現力」、入試日の小論文では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。入試日の小論文は、事前にテーマ群とキーワード群を本要項に提示することにより、事前学習の機会としています。聖書の口頭試問では聖書の基礎知識を問います。面接試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合するか審査します。

### 1. 出願資格

各選抜共通の出願資格(13ページ)を参照ください。

### 2. 選考方法

#### (1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

#### (2) 筆記試験〔小論文 90分〕

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。評価の視点は以下「4. 評価方法・評価比重」を、試験要領は15ページを参照ください。

#### (3) 面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問(旧約聖書、新約聖書から各5問)、事前課題(小論文)の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

### 3. 入試日程

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月2日(月)～9月20日(金)	10月19日(土)	11月1日(金)	11月15日(金)必着
第2回	10月1日(火)～10月21日(月)	11月20日(水)	12月2日(月)	12月16日(月)必着
第3回	2月3日(月)～2月20日(木)	3月1日(土)	3月5日(水)	3月19日(水)必着

### 4. 評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	口頭試問	旧約聖書5問 新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題(小論文)	思考力・判断力・表現力	100点	
		知識・技能、思考力・判断力・表現力		
		問題の把握と論理的展開	30点	
		日本語表現	30点	
		クリスチャンとしての視点	10点	
		独自性	10点	
キリストへの献身 将来教会と社会に仕える志 建学の精神と信仰基準への同意 自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力	面接	結論の明確性	10点	
		字数を満たし十分論じられているか	10点	
		アドミッション・ポリシーへの適合	300点	50%
		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度		

事前課題(小論文)の評価内容・視点は、36ページ「事前課題(小論文)について」を参照ください。

### <筆記試験（小論文）要領>

以下の【テーマ群】の中から入試当日に小論文のテーマを1つ出題します。その際以下の【キーワード群】の中から3つのキーワードを指定し、そのキーワードを用いて論述することを求めます。入試当日までのテーマとキーワードが出題されるかは分かりません。受験者は入試日までに【テーマ群】や【キーワード群】に示されている語句を調べ、受験に備えてください。なお、受験時の聖書や辞書等の持込みは認められません。

テーマ群	キーワード群
多文化共生社会	「超教派」 「福音主義」 「実践的神学教育」 「世界宣教」 「教会」 「聖書」 「人工知能（AI）」 「富」 「共同体」 「人権」 「多様性」
気候変動	
世界の経済格差	
少子高齢化	

### <学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、追加の入学検定料なしで別日の入試に振り替えることができます。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、別の入試日への振り替えはできません。

## 総合型選抜（オンライン） ※海外在住者限定

本学の総合型選抜（オンライン）は、海外在住の出願者で希望する者がオンラインで受験できる選抜です。書類審査、事前課題(小論文)、提示される文章に関する口頭試問、聖書基礎知識に関する口頭試問、面接試験を組み合わせた選抜です。事前課題(小論文)では「思考力・判断力・表現力」、口頭試問では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。聖書口頭試問では聖書の基礎知識を問います。面接試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合するかを審査します。

### 1. 出願資格

各選抜共通の出願資格（13ページ）を参照ください。

### 2. 選考方法

#### (1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

#### (2) オンライン口頭試問 [1人15分]

入試日当日にオンライン上で提示される短い文章を受験生が朗読します。その後、その文章について口頭試問を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

#### (3) オンライン面接試験 [1人30分]

聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問）、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

### 3. 入試日程

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月2日(月)～9月20日(金)	10月19日(土)	11月1日(金)	11月15日(金)必着
第2回	10月1日(火)～10月21日(月)	11月20日(水)	12月2日(月)	12月16日(月)必着
第3回	2月3日(月)～2月20日(木)	3月1日(土)	3月5日(水)	3月19日(水)必着

### 4. 評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	オンライン口頭試問	旧約聖書5問 新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	提示される文章に関するオンライン口頭試問	知識・技能 思考力・判断力・表現力	30点 70点	
キリストへの献身 将来教会と社会に仕える志 建学の精神と信仰基準への同意 自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力	オンライン面接	アドミッション・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%

事前課題（小論文）の評価内容・視点は、36ページ「事前課題（小論文）について」を参照ください。

## <オンラインでの受験について>

試験（口頭試問と面接）は、オンライン会議システムの Zoom を使用して実施します。

### （1）事前準備

#### ①インターネット接続環境

- ・インターネット接続環境と接続機器は必ず自身でご用意ください。
- ・インターネット接続の安定した静かな場所で受験してください。

#### ② Zoom アプリのダウンロード

- ・受験で使用するインターネット接続機器（PC、タブレット等）に Zoom アプリをダウンロードしてください。PC の場合は、<https://zoom.us/>にアクセス、タブレットの場合は Apple Store や Google Play で Zoom アプリをダウンロードしてください。

#### ③ Zoom 接続テスト

- ・Zoom 接続テスト日時は出願後メールにてお知らせします。Zoom のビデオで表示される名前は必ず受験者氏名(例：千葉 花子)にしてください。

### （2）試験当日

- ①口頭試問及び面接の時間は、出願後、個別にメールにてお知らせします。日本時間 10:00～17:00 の間で実施しますので、この時間帯は必ず予定を空けておいてください。
- ②口頭試問と面接の間は、Zoom のビデオと音声を ON にしてください。
- ③口頭試問及び面接中に何かを参照することは禁止です。
- ④口頭試問の後、続けて面接試験を行います。途中休憩はありません。

### （3）注意事項（ネットワークの不具合などが起きた場合）

- ・口頭試問では、回答中の問題は不具合が起きる前までで採点します。また 5 分以内に再接続できなかった場合、その後の口頭試問は全て 0 点となります。
- ・面接では再接続後、継続して面接を行います。不具合が改善せず、入試日の 17:00 までに再接続できない場合は不具合が起きる前までの面接内容で採点します。
- ・明らかに大学側の原因でネットワーク等の不具合が起き、インターネット接続が回復しない場合は、電話による口頭試問および面接試験を行います。
- ・不可抗力の原因によりネットワークの不具合が起き、入試日の 17:00 までに不具合が解消される見込みがない場合は、状況を確認した上で対応を検討します。

## <学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、追加の入学検定料なしで別日の入試に振り替えることができます。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、別の入試日別日の入試への振り替えはできません。

## 学校推薦型選抜（公募制）

本学の学校推薦型選抜（公募制）は、書類審査、事前課題（小論文）、聖書の口頭試問、面接試験を組み合わせた選抜です。事前課題（小論文）では「思考力・判断力・表現力」を審査します。聖書口頭試問では聖書の基礎知識を問います。高等学校での学習成果も重視し、高等学校で培った「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を調査書によって評価します。面接試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合するかを審査します。

### 1. 出願資格

各選抜共通の出願資格（13ページ）を持ち、かつ以下の各号のすべてに該当する者。

- (1) 日本の教育制度に基づく高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業または2025年3月卒業見込みの者。
- (2) 全体の評定平均値が3.5以上の専願者。
- (3) 在籍するまたは卒業した高等学校長の推薦を受けた者。

### 2. 選考方法

#### (1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題（小論文）にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

#### (2) 面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問）、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

### 3. 入試日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
11月1日(金)～11月8日(金)	11月20日(水)	12月2日(月)	12月16日(月)必着

### 4. 評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	口頭試問	旧約聖書5問 新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	調査書	知識・技能、思考力・判断力・表現力	100点	
キリストへの献身 将来教会と社会に仕える志 建学の精神と信仰基準への同意 自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力	面接	アドミッション・ポリシーへの適合  主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%

事前課題（小論文）の評価内容・視点は、36ページ「事前課題（小論文）について」を参照ください。

### <学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、オンライン面接に切り替えて実施します。オンライン面接の方法は、総合型選抜（オンライン）の方法に準じます（17ページ参照）。やむを得ない事情により試験日に受験できない場合は、別日程でオンライン面接を行います。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、オンライン面接への切り替えはできません。

## 学校推薦型選抜（指定校制）

本学の学校推薦型選抜（指定校制）は、書類審査、事前課題（小論文）、聖書の口頭試問、面接試験を組み合わせた選抜です。事前課題（小論文）では「思考力・判断力・表現力」を審査します。聖書口頭試問では聖書の基礎知識を問います。高等学校での学習成果も重視し、高等学校で培った「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を調査書によって評価します。面接試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合するかを審査します。

### 1. 出願資格

各選抜共通の出願資格（13ページ）を持ち、かつ以下の各号のすべてに該当する者。

- (1) 本学指定校の高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業または2025年3月卒業見込みの者。
- (2) 全体の評定平均値が3.0以上の専願者。
- (3) 在籍するまたは卒業した高等学校長の推薦を受けた者。

※ 卒業・卒業見込みの高等学校が本学の指定校かどうかは本学ウェブサイトでご確認ください。

（トップページ→入学案内→入試案内→学部入試→学校推薦型選抜（公募制・指定校制））

### 2. 選考方法

#### (1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題（小論文）にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

#### (2) 面接試験 [1人30分]

聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問）、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

### 3. 入試日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
11月1日(金)～11月8日(金)	11月20日(水)	12月2日(月)	12月16日(月)必着

### 4. 評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	口頭試問	旧約聖書5問 新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	調査書	知識・技能、思考力・判断力・表現力	100点	
キリストへの献身 将来教会と社会に仕える志 建学の精神と信仰基準への同意 自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力	面接	アドミッション・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%

事前課題（小論文）の評価内容・視点は、36ページ「事前課題（小論文）について」を参照ください。

### <学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、オンライン面接に切り替えて実施します。オンライン面接の方法は、総合型選抜（オンライン）の方法に準じます（17ページ参照）。やむを得ない事情により試験日に受験できない場合は、別日程でオンライン面接を行います。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、オンライン面接への切り替えはできません。

## 一般選抜

本学の一般選抜は、筆記試験の成績だけで合否を判定せず、筆記試験と同程度に書類審査と面接試験を重視します。書類審査、筆記試験（聖書）、面接試験ではアドミッション・ポリシーに適合するかどうか審査し、筆記試験（小論文）では高等学校までに身につけた基礎学力を審査します。

聖書筆記試験は聖書の基礎知識を問います。小論文筆記試験は高等学校の国語（現代の国語、論理国語、国語表現）の範囲から出題します。

### 1. 出願資格

各選抜共通の出願資格（13ページ）を参照ください。

### 2. 選考方法

#### (1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

#### (2) 筆記試験〔聖書40分、小論文90分〕

聖書…新約聖書、旧約聖書の基礎知識を問う問題を出題します。

小論文…高等学校の国語（現代の国語、論理国語、国語表現）の範囲から出題し、「知識」、「思考力・判断力・表現力」を審査します。

#### (3) 面接試験〔1人20分〕

事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

### 3. 入試日程

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第Ⅰ期	1月6日(月)～1月20日(月)	2月1日(土)	2月6日(木)	2月21日(金)必着
第Ⅱ期	2月21日(金)～3月7日(金)	3月13日(木)	3月14日(金)	3月21日(金)必着

### 4. 評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	筆記試験（聖書）	旧約聖書、新約聖書の基礎知識	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	筆記試験（小論文）	漢字（知識）	10点	
			文章理解、論述（思考力・判断力・表現力）	
キリストへの献身	面接	アドミッション・ポリシーへの適合  主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意				
自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力				

事前課題（小論文）の評価内容・視点は、36ページ「事前課題（小論文）について」を参照ください。

### <学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、追加の検定料なしで追試験を実施します。追試験日程などの詳細は出願者に個別に連絡します。診断書の提出は求めませんが、試験日までには必ず連絡してください。連絡がない場合、追試験の受験はできません。

# 編入学者選抜要項

※出願はすべて Web 出願サイトから行います。

## 編入学者選抜

(総合型方式・総合型オンライン方式・一般方式)

○3 年次編入 教会教職専攻

○3 年次編入 教会教職専攻以外

グローバル・スタディーズ専攻

ユース・スタディーズ専攻

キリスト教福祉専攻

神学教養専攻

○2 年次編入

## 編入 学 者 選 抜 ( 3 年 次 編 入 教 会 教 職 専 攻 )

### 対象：3年次編入 教会教職専攻志望者

教会教職専攻では、明確な召命感を持ち、福音主義に立つ正統的な神学・敬虔な生活・深い人間理解・伝道と牧会の情熱と実践力を身につけ、国際的な視野を持って教会と地域に仕える教会教職者を養成します。本専攻の編入志望者には、4年制大学卒業程度の論理的思考能力を求めます。総合型方式および一般方式の選抜を通して、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」やアドミッション・ポリシーに適合するかどうかを審査します。

#### 1. 出願資格

召命を受け、教会の承認を得、牧師・宣教師・伝道者・教会教育従事者・神学教師などをを目指す者で、受洗後、または、幼児洗礼の場合は信仰告白後1年を経た者で、次のいずれかの資格を満たす者。

- (1) 学士の学位を有する者及び2025年3月までに学士の学位を授与される見込みの者。
- (2) 大学の2年次を修了し、約60単位を目安に修得した者及び2025年3月までに修得見込みの者。
- (3) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び2025年3月卒業見込みの者。
- (4) 修業年限が2年以上であり、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である専修学校専門課程を修了した者及び2025年3月修了見込みの者。
- (5) 外国において学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者。

※ 日本語を母語としない者は本学の求める日本語能力を持つ者であること。詳細は11ページ参照。

#### 2. 選考方法

##### (総合型方式)

##### (1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

##### (2) 筆記試験〔小論文 90分〕

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

##### <試験要領>

以下の【テーマ群】の中から入試当日に小論文のテーマを1つ出題します。その際、以下の【キーワード群】の中から3つのキーワードを指定し、そのキーワードを用いて論述することを求めます。入試当日までどのテーマとキーワードが出題されるかは分かりません。受験生は入試日までに【テーマ群】や【キーワード群】に示されている語句を調べ、受験に備えてください。なお、受験時に聖書や辞書等の持込みは認められません。

	テーマ群	キーワード群
1	外国人と共に生きる社会	「グローバル化」「御言葉の説教」「日々の務め」
2	終末を生きる教会	「伝道と牧会」「信仰、希望、愛」「LGBTQ」
3	高齢化社会と次世代宣教	「時(世の終わり)のしるし」「歴史と伝統」
4	多様な時代を生きる教会	「バベルの塔」「入管問題」「牧師不足」

##### (3) 面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問(旧約聖書、新約聖書から各5問)、事前課題(小論文)の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

### (総合型オンライン方式)

※海外在住の出願者で希望する者が対象。

#### (1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

#### (2) オンライン口頭試問 [1人15分]

入試当日にオンライン上で提示される短い文章を受験生が朗読します。その後、その文章について口頭試問を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

#### (3) オンライン面接試験 [1人30分]

聖書基礎知識の口頭試問(旧約聖書、新約聖書から各5問)、事前課題(小論文)の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

### (一般方式)

#### (1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

#### (2) 筆記試験 [聖書40分、小論文 90分]

聖書…新約聖書、旧約聖書の基礎知識を問う問題を出題します。

小論文…教会教職志望者にふさわしいテーマで出題します。「思考力・判断力・表現力」を審査します。

#### (3) 面接試験 [1人20分]

事前課題(小論文)の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

## 3. 入試日程

### (総合型方式) (総合型オンライン方式)

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月2日(月)～9月20日(金)	10月19日(土)	11月1日(金)	11月15日(金)必着
第2回	10月1日(火)～10月21日(月)	11月20日(水)	12月2日(月)	12月16日(月)必着
第3回	2月3日(月)～2月20日(木)	3月1日(土)	3月5日(水)	3月19日(水)必着

### (一般方式)

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第Ⅰ期	1月6日(月)～1月20日(月)	2月1日(土)	2月6日(木)	2月21日(金)必着
第Ⅱ期	2月21日(金)～3月7日(金)	3月13日(木)	3月14日(金)	3月21日(金)必着

#### 4. 評価方法・評価比重

(総合型方式)

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	口頭試問	旧約聖書5問 新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題 (小論文)	思考力・判断力・表現力	100点	
	筆記試験 (小論文)	問題に的確に答えているか	20点	
		論理性、説得力	20点	
		主張、結論の明確さ	20点	
		(将来の)教職者としての視点を持っているか	20点	
文章力	20点			
キリストへの献身 将来教会と社会に仕える志 建学の精神と信仰基準への同意 自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力	面接	アドミッション・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%

事前課題 (小論文) の評価内容・視点は、36ページ「事前課題 (小論文) について」を参照ください。

(総合型オンライン方式) 16ページ「4. 評価方法・評価比重」参照。

(一般方式)

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	筆記試験 (聖書)	旧約聖書、新約聖書の基礎知識	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題 (小論文)	思考力・判断力・表現力	100点	
	筆記試験 (小論文)	(将来の)教職者としての思考力・判断力・表現力	100点	
キリストへの献身 将来教会と社会に仕える志 建学の精神と信仰基準への同意 自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力	面接	アドミッション・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%

事前課題 (小論文) の評価内容・視点は、36ページ「事前課題 (小論文) について」を参照ください。

## <オンラインでの受験について>

試験（口頭試問と面接）は、オンライン会議システムの Zoom を使用して実施します。

### (1) 事前準備

#### ① インターネット接続環境

- ・インターネット接続環境と接続機器は必ず自身でご用意ください。
- ・インターネット接続の安定した静かな場所で受験してください。

#### ② Zoom アプリのダウンロード

- ・受験で使用するインターネット接続機器（PC、タブレット等）に Zoom アプリをダウンロードしてください。PC の場合は、<https://zoom.us/> にアクセス、タブレットの場合は Apple Store や Google Play で Zoom アプリをダウンロードしてください。

#### ③ Zoom 接続テスト

- ・Zoom 接続テスト日時は出願後メールにてお知らせします。Zoom のビデオで表示される名前は必ず受験者氏名(例：千葉 花子)にしてください。

### (2) 試験当日

- ① 口頭試問及び面接の時間は、出願後、個別にメールにてお知らせします。日本時間 10:00～17:00 の間で実施しますので、この時間帯は必ず予定を空けておいてください。
- ② 口頭試問と面接の間は、Zoom のビデオと音声を ON にしてください。
- ③ 口頭試問及び面接中に何かを参照することは禁止です。
- ④ 口頭試問の後、続けて面接試験を行います。途中休憩はありません。

### (3) 注意事項（ネットワークの不具合などが起きた場合）

- ・口頭試問では、回答中の問題は不具合が起きる前までで採点します。また 5 分以内に再接続できなかった場合、その後の口頭試問は全て 0 点となります。
- ・面接では再接続後、継続して面接を行います。不具合が改善せず、入試日の 17:00 までに再接続できない場合は不具合が起きる前までの面接内容で採点します。
- ・明らかに大学側の原因でネットワーク等の不具合が起き、インターネット接続が回復しない場合は、電話による口頭試問および面接試験を行います。
- ・不可抗力の原因によりネットワークの不具合が起き、入試日の 17:00 までに不具合が解消される見込みがない場合は、状況を確認した上で対応を検討します。

## <学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、総合型方式受験者は、追加の入学検定料なしで別の入試日に振り替えることができます。一般方式受験者は、追試験を実施します。追試験日程などの詳細は出願者に個別に連絡します。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、別日の入試への振り替え、または追試験の受験はできません。

## 編入学者選抜（2年次および3年次〔教会教職専攻を除く〕）

対象：2年次編入志望者

3年次編入志望者(グローバル・スタディーズ専攻、ユース・スタディーズ専攻、  
キリスト教福祉専攻、神学教養専攻)

編入志望者（教会教職専攻3年次編入志望者を除く）には、本学1年次入学者と同等の学力を求めます。総合型方式および一般方式の選抜を通して、聖書の基礎知識、「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」および本学アドミッション・ポリシーに適合するかどうかを審査します。

### 1. 出願資格

受洗後キリストへの献身を明確にしたキリスト教信者であり、次のいずれかの資格を満たす者。

- (1) 学士の学位を有する者及び2025年3月までに学士の学位を授与される見込みの者。
- (2) 大学の1年次を修了し、約30単位を目安に修得した者及び2025年3月までに修得見込みの者。
- (3) 大学の2年次を修了し、約60単位を目安に修得した者及び2025年3月までに修得見込みの者。
- (4) 大学の3年次を修了し、約90単位（内、本学で約30単位）を目安に修得した者及び2025年3月までに修得見込みの者。
- (5) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び2025年3月卒業見込みの者。
- (6) 修業年限が2年以上であり、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である専修学校専門課程を修了した者及び2025年3月修了見込みの者。
- (7) 外国において学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者。
- (8) 高等学校等の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者。

※ 日本語を母語としない者は本学の求める日本語能力を持つ者であること。詳細は11ページ参照。

### <単位認定と編入年次について>

他大学等で修得した単位が本学でどれだけ単位認定されるかによって編入年次が決まります。編入年次は合格発表時に通知します。出願前に編入可能年次を確認したい場合はアドミッションセンターまでご連絡の上、成績証明書をお送りください。

### 2. 選考方法

（総合型方式）

#### (1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2) 筆記試験〔小論文 90分〕

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

＜試験要領＞

以下の【テーマ群】の中から入試当日に小論文のテーマを1つ出題します。その際以下の【キーワード群】の中から3つのキーワードを指定し、そのキーワードを用いて論述することを求めます。入試当日までどのテーマとキーワードが出題されるかは分かりません。受験生は入試日までに【テーマ群】や【キーワード群】に示されている語句を調べ、受験に備えてください。なお、受験時の聖書や辞書等の持込みは認められません。

テーマ群	キーワード群
多文化共生社会	「超教派」 「福音主義」 「実践的神学教育」 「世界宣教」 「教会」 「聖書」 「人工知能 (AI)」 「富」 「共同体」 「人権」 「多様性」
気候変動	
世界の経済格差	
少子高齢化	

(3) 面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問）、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

（総合型オンライン方式）

※海外在住の出願者で希望する者が対象。

(1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また出願 Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2) オンライン口頭試問〔1人15分〕

入試日当日にオンライン上で提示される短い文章を受験生が朗読します。その後、その文章について口頭試問を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

(3) オンライン面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問）、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

（一般方式）

(1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また出願 Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2) 筆記試験〔聖書40分、小論文 90分〕

聖書…新約聖書、旧約聖書の基礎知識を問う問題を出題します。

小論文…高等学校の国語（現代の国語、論理国語、国語表現）を土台にした問題を出題します。「思考力・判断力・表現力」を審査します。

(3) 面接試験〔1人20分〕

事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

### 3. 入試日程

#### (総合型方式) (総合型オンライン方式)

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月2日(月)～9月20日(金)	10月19日(土)	11月1日(金)	11月15日(金)必着
第2回	10月1日(火)～10月21日(月)	11月20日(水)	12月2日(月)	12月16日(月)必着
第3回	2月3日(月)～2月20日(木)	3月1日(土)	3月5日(水)	3月19日(水)必着

#### (一般方式)

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第Ⅰ期	1月6日(月)～1月20日(月)	2月1日(土)	2月6日(木)	2月21日(金)必着
第Ⅱ期	2月21日(金)～3月7日(金)	3月13日(木)	3月14日(金)	3月21日(金)必着

### 4. 評価方法・評価比重

(総合型方式) 14ページ「4. 評価方法・評価比重」参照。

(総合型オンライン方式) 16ページ「4. 評価方法・評価比重」参照。

(一般方式) 20ページ「4. 評価方法・評価比重」参照。

## <オンラインでの受験について>

試験（口頭試問と面接）は、オンライン会議システムの Zoom を使用して実施します。

### (1) 事前準備

#### ① インターネット接続環境

- ・インターネット接続環境と接続機器は必ず自身でご用意ください。
- ・インターネット接続の安定した静かな場所で受験してください。

#### ② Zoom アプリのダウンロード

- ・受験で使用するインターネット接続機器（PC、タブレット等）に Zoom アプリをダウンロードしてください。PC の場合は、<https://zoom.us/>にアクセス、タブレットの場合は Apple Store や Google Play で Zoom アプリをダウンロードしてください。

#### ③ Zoom 接続テスト

- ・Zoom 接続テスト日時は出願後メールにてお知らせします。Zoom のビデオで表示される名前は必ず受験者氏名(例：千葉 花子)にしてください。

### (2) 試験当日

- ① 口頭試問及び面接の時間は、出願後、個別にメールにてお知らせします。日本時間 10:00～17:00 の間で実施しますので、この時間帯は必ず予定を空けておいてください。
- ② 口頭試問と面接の間は、Zoom のビデオと音声を ON にしてください。
- ③ 口頭試問及び面接中に何かを参照することは禁止です。
- ④ 口頭試問の後、続けて面接試験を行います。途中休憩はありません。

### (3) 注意事項（ネットワークの不具合などが起きた場合）

- ・口頭試問では、回答中の問題は不具合が起きる前までで採点します。また 5 分以内に再接続できなかった場合、その後の口頭試問は全て 0 点となります。
- ・面接では再接続後、継続して面接を行います。不具合が改善せず、入試日の 17:00 までに再接続できない場合は不具合が起きる前までの面接内容で採点します。
- ・明らかに大学側の原因でネットワークの不具合等が起き、インターネット接続が回復しない場合は、電話による口頭試問および面接試験を行います。
- ・不可抗力の原因によりネットワークの不具合が起き、入試日の 17:00 までに不具合が解消される見込みがない場合は、状況を確認した上で対応を検討します。

## <学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、総合型方式受験者は、追加の入学検定料なしで別日の入試に振り替えることができます。一般方式受験者は、追試験を実施します。追試験日程などの詳細は出願者に個別に連絡します。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、別入試日への振り替え、または追試験の受験はできません。

## 学生納付金（2025年度）

### 1年次入学生・編入学生（寮生・通学生共通）

	初年度納付額	入学手続時 最少納付額
入学金	¥50,000	¥50,000
授業料	¥690,000	¥230,000
施設費	¥261,600	¥87,200
教育充実費	¥80,400	¥80,400
合計 A	¥1,082,000	¥447,600

### 寮生

	初年度納付額	入学手続時 最少納付額
寮費(独身寮)	¥293,100	¥97,700
寮室電気料金	¥12,000	¥12,000
食費	¥285,000	¥95,000
合計 B	¥590,100	¥204,700
<b>総計 (A+B)</b>	<b>¥1,672,100</b>	<b>¥652,300</b>

<家族寮間取り>

<家族寮費/年>

タイプA	間取り：1S, 2DK, B, T (44㎡)	¥600,000
タイプB	間取り：2DK, B, T (39㎡)	¥541,200
タイプC	間取り：1S, 1DK, B, T (37㎡)	¥500,100

S:スタディールーム、DK:ダイニングキッチン、B:風呂、T:トイレ

※家族寮入寮希望者は合格発表時にはどのタイプの部屋に入れるか未定のため、寮費等は初年度納付額ではなく入学手続時最少納付額をお支払いください。寮費等の入学手続時最少納付額は家族寮入寮者も独身寮入寮者と同額です。部屋タイプごとに8月・12月に別途家族寮費を徴収します。

※家族寮は、退寮時の清掃費用として20,000円を徴収します。退寮時に経年劣化以外の修繕が生じた場合は別途費用がかかります。

### [注意事項]

- ① 入学手続締切日までに初年度納付額または入学手続時最少納付額を納入してください。初年度納付額は、年3回（入学手続時・8月・12月）の分納が可能です。8月・12月の納付額についての詳細は別途通知します。
- ② 選択科目「English Intensive Study Abroad」・「グローバル・スタディーズ実習」を履修する場合は、上記の学生納付金とは別に研修費用がかかります。
- ③ 選択科目「器楽等レッスン」を受講する場合、上記の学生納付金とは別に受講費用がかかります。
- ④ 学生納付金は年度ごとに改定する場合があります。また食費は物価変動に応じて年度の途中で改定する場合があります。

## 奨学金制度

<本学の奨学金> 2024年度給付実績 ※内容は変更される可能性があります。

学内奨学金(給付)	金額(年額)	人数	備考
ノア奨学金	最大300,000円	10名	本学の教育目的を重んじ、学業・人物ともに秀で、経済的援助の必要な日本国籍以外の者。
上田メソッド奨学金	500,000円	8名	学部の教会教職専攻および大学院神学研究科教会教職コース(以下「教会教職課程」)に在籍する、原則として日本人学生。明確な召命観を持ち福音宣教に情熱がある者、かつ本学の教育目的を重んじ、学業・人物ともに秀で、経済的援助の必要な者。
恩澤会奨学金	300,000円	2人	学部の教会教職専攻または大学院に在籍する者。明確な召命観を持ち福音宣教に情熱がある者、かつ本学の教育目的を重んじ、学業・人物ともに秀で、経済的援助の必要な者。
三谷幸子奨学金	200,000円	1人	学部の男子学生を優先。クワイア履修生優先。
共立元木奨学金	最大150,000円	該当者	東京基督教大学及び東京キリスト教学園各校前身校の女子卒業生または女子修了生の子女。

\*入学後に申請。複数の学内奨学金の申請資格がある場合、複数申請可。

<日本学生支援機構>

貸与奨学金	金額(月額)	人数	備考
日本学生支援機構 第一種	20,000円 30,000円 40,000円 50,000円 64,000円 の中から選択  ※私立自宅外の場合	該当者	貸与奨学金(無利息)、成績 評定平均3.5以上 最高月額の64,000円を希望する者は、家計支持者の年収が一定額以下である必要があります。 なお、日本学生支援機構の給付奨学金受給者は第一種奨学金の貸与月額は自動的に次のように減額されます。給付奨学金第1区分、第2区分は月額0円、第3区分は月額19,200円(私立自宅外の場合)に減額。
日本学生支援機構 第二種	20,000円～ 120,000円の うち1万円単位 で選択	該当者	貸与奨学金(有利子)、成績 平均以上

給付奨学金	金額(月額)	人数	備考
日本学生支援機構 給付型奨学金  (文部科学省 修学支援新制度)	第Ⅰ区分 75,800円+ 授業料全額減免	該当者	給付奨学金  家計基準(日本学生支援機構HPにあるシミュレーターで該当するかどうかおおよそ判定可能)と学力基準を満たしている者が対象。また下記大学入学時期に関する資格を満たしていること。  ・高等学校等を初めて卒業した日の属する年度の翌年度の末日から大学等へ入学した日までの期間が2年を経過していない人。  ・編入学する前に在学していた学校を卒業又は修了等した後1年以内に本学に編入学又は転学する人。ただし、学士取得者は対象外。
	第Ⅱ区分 50,600円+ 授業料2/3減免		
	第Ⅲ区分 25,300円+ 授業料1/3減免		
	第Ⅳ区分 19,000円+ 授業料1/4減免 <small>※月額私立自宅外の場合</small> ※授業料減免は最大70万円まで		

授業料減免は文部科学省の修学支援新制度ですが、現在日本学生支援機構給付奨学金申請と同時申請となっています。

\*日本学生支援機構の奨学金は大学入学後に申し込みをする定期採用と大学入学前に申し込みできる予約採用の二種類があります。予約採用で申込希望の方は、卒業(卒業後2年以内)または在籍している高等学校又は専修学校(高等課程)にお問い合わせください。高等学校卒業程度認定試験もしくは大学入学資格検定に合格した人は、日本学生支援機構(0570-666-301)にお問い合わせください。

# Web 出願について

※出願はすべて Web 出願サイトから行います。

Web 出願サイト



<https://admission.tci.ac.jp/>

(パソコンからの入力を推奨)

Web出願サイト 日本語 (ja) 英語に切り替えていますか。(English)

---



**東京基督教大学**  
TOKYO CHRISTIAN UNIVERSITY



**東京基督教大学 Web出願サイトへようこそ**

---

### はじめに

このWebサイトは東京基督教大学への出願手続きをオンラインでおこなためのWebサイトです。  
出願手続は、出願期間内に「Web出願の登録」「出願書類の入力」「提出」「入学料定料の支払い」「登録票の印刷」をすべて完了させます。  
「Web出願の登録」後、Webサイトの表示にしたがって各作業をおこなってください。

※ 入学試験要項には以下からダウンロード確認してください。

[入学試験要項](#)

---

### 出願手続の流れ

出願手続は以下のSTEP 1からSTEP 5までおこないます。

STEP 1 事前準備	STEP 2 Web出願の登録	STEP 3 出願書類の入	STEP 4 入学料定料の支	STEP 5 登録票の印刷
----------------	--------------------	------------------	-------------------	------------------

## Web 出願に必要な情報

No.	項目	対象者	説明・注意事項等
1	アカウントの作成	全員	メールアドレス、パスワード(8文字以上、アルファベット大文字・小文字・数字・記号をすべて使用)
2	基本情報	全員	氏名、半角カタカナ、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス、出願者以外の緊急連絡先ほか。
3	志願する課程	全員	出願資格を満たす者は「出願」を選択。 チャーチスクールやホームスクールなどで学び、高等学校卒業程度認定試験「合格成績証明書」のない者等は「個別入学資格審査」を選択。(本要項 12 ページ参照)
4	入学志願票	全員	入学区分、志望専攻、受験する入試区分を選択。
5	履歴書	全員	顔写真データ(ファイル形式:JPEG、推奨サイズ:640×480 ピクセル) 中学卒業後の学歴、職歴、所属教会の情報、受洗年月日、取得した資格ほか。 「入寮」または「通学」を選択。
6	自己紹介書	全員	教会や社会での活動や体験、自分の長所や短所など。 「志願理由と入学後の学びの目標」は 800 字以内。
7	所属教会牧師等推薦書	全員	推薦者の氏名、メールアドレスを入力。 ・推薦者は所属教会の牧師あるいは役員等指導的立場にある者。(日本語・英語のみ対応) ・推薦者自身が Web から入力するので、推薦者にあらかじめ依頼すること。
8	キリスト者推薦書	全員	推薦者の氏名、メールアドレスを入力。 ・推薦者は客観的に志願者を評価できるキリスト者。ただし所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の 3 親等以内の親族は除く。(日本語・英語のみ対応) ・推薦者自身が Web から入力するので、推薦者にあらかじめ依頼すること。
9	救いと献身の証し	全員	1,200 字以上～2,000 字以下でまとめること。
10	事前課題(小論文)	全員	事前課題小論文(全受験生共通)を 1,800 字以上～2,200 字以内で作成。36 ページ参照。 <u>生成 AI の利用、他者による添削・指導不可。</u>
11	調査書または成績証明書等	1 年次出願者	「高等学校調査書」または高等学校卒業程度認定試験「合格成績証明書」を郵送すること。 ・チャーチスクールまたはホームスクールを卒業(見込み)の者は上記に加えて在学期間に履修した科目等の内容、成績などがわかる書類を提出すること。 ・外国の高等学校を卒業(見込み)の者は「卒業(見込み)証明書」、「成績証明書」を提出すること。 ・調査書について保存期間終了等の理由で発行されない場合は、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出すること。

12	成績証明書・卒業証明書等	編入学者 選抜 出願者	<p>(1)~(3)のうち自身の学歴に応じて示された書類を提出すること。</p> <p>(1)短大・高専・大学を卒業(見込み)者：①卒業(見込み)証明書 ②成績証明書</p> <p>(2)専修学校卒(見込み)者：①卒業(見込み)証明書 ②成績証明書 ③卒業(見込み)の専修学校が大学編入学資格を満たす学校であることの証明書、または専門士資格取得証明書(卒業証明書にそれらが明記されている場合、卒業証明書で代替可) ④シラバス等の講義内容、単位数が記載されたもの(写し可)</p> <p>(3)高等学校等の専攻科修了(見込み)者：①修了(見込み)証明書 ②成績証明書 ③修了(見込み)の高等学校等の専攻科が大学編入学資格を満たす学校であることの証明書(修了証明書にそれらが明記されている場合、修了証明書で代替可) ④シラバス等の講義内容、単位数が記載されたもの(写し可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の課程を修了した者は、上記の書類に準ずるもの(和文または英文)を提出する。</li> <li>・高等学校調査書の提出を求める場合がある。</li> <li>・大学院在学者、修了者(見込み者)の場合でも、大学院のものではなく大学(学部)の成績証明書と卒業証明書を提出すること。</li> </ul>
13	学校長推薦入学推薦書	該当者	<p>学校推薦型選抜受験者のみ。</p> <p>推薦書を依頼する先生の名前、メールアドレスを入力。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦者自身がWebから入力するので、推薦者にあらかじめ依頼すること。</li> </ul>
14	健康状況票兼配慮の申請書	該当者	<p>身体等に障がいがあり、受験に特別の配慮を必要とする者のみ。</p> <p>障がい者手帳または診断書のPDFデータ。</p>
15	在留カード及びパスポートのコピー	外国籍者	<p>在留カードの両面のPDFデータ。</p> <p>パスポートは氏名の記載されたページのPDFデータ。</p>
16	日本語能力を証明する証明書	該当者	<p>日本語が母語でない者は要提出。</p> <p>詳細は11ページ「日本語能力について」参照。</p>
17	受験料の支払	全員	<p>出願締切日までにお支払いください。</p> <p>入金の確認ができない場合は受験できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国内の方：指定の銀行口座に送金</li> <li>・海外在住の方：クレジットカード払い</li> </ul>

**個人情報の取り扱い**

Web出願サイトで提出された個人情報は、選抜の実施、合否発表、入学手続き、統計・分析、入学後教育指導上必要とされる範囲、またこれらに付随する事項を行うために適正な範囲で利用し、以上の目的以外には利用しません。

## 事前課題(小論文)について

事前課題(小論文)は全受験生各自が自宅等で取り組み、Web 出願サイトから提出する必須の課題です。

学力評価の一つとして「思考力・判断力・表現力」を評価し、審査します。

(注意事項)

- ・必ず受験生自身が自分の力で作成してください。
- ・生成 AI の利用、他者による指導・添削は禁止します。

### <事前課題(小論文)>

「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」

これは、聖書が語る神と人の関係の「破れ」と、そこから生じる人の世界の「破れ」(痛み、矛盾、溝など)の回復と修復のために立つ人を育成する本学の教育の使命を表しています。この見地に立ち、以下の質問に対するあなたの考えをまとめて、1,800 字以上 2,200 字以内で論じてください。

1. あなたの身近な所、社会、世界にはどのような「破れ」があるでしょうか。そしてあなた自身が「重荷」(使命)を持つことは何でしょうか。またその理由は何でしょうか。
2. キリスト者が「破れ口」に立とうとする理由、そして模範はキリスト自身です。あなたはそれを自分のこととしてどのようにとらえ、またそのしもべとして必要な聖書的視点や姿勢、実際的手段と行動、協力関係はどのようなものと考えますか。
3. あなたが「破れ口に立つ」ために、本学での学びにどのようなことを期待しますか。

### <事前課題(小論文)の評価内容・視点>

①問題の把握と論理的展開	20 点
②日本語表現(語彙、文体、表現)	20 点
③クリスチャンとしての視点と視野	15 点
④聖書と教理の正しい理解	15 点
⑤独自性と結論の明確性	20 点
⑥字数を満たし十分論じられているか	10 点

## キャンパスまでの交通のご案内

### 北総線

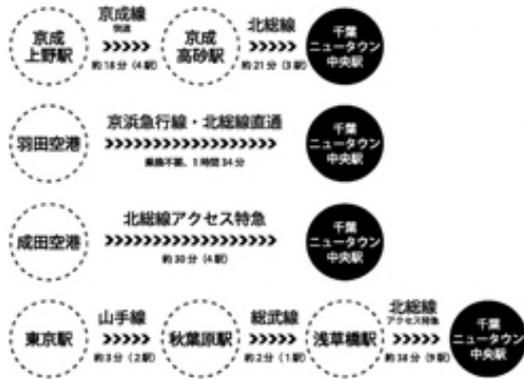
「千葉ニュータウン中央駅」下車

#### ■南口バス乗り場

ちばレインボーバス高花行き

「電話局」下車徒歩7分

#### ■駅から徒歩25分



## キャンパス（入学試験会場）のご案内



